

弓削商船高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	工業英語
科目基礎情報						
科目番号	0024		科目区分	専門 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	電子機械工学科		対象学年	5		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	工業英語：（実教出版）					
担当教員	Davaa Ganbat					
到達目標						
本講義は、科学技術に関する知識や事実を英語で理解し、英語で作文を書く、技術論文を読む、英語で話せる、プレゼンテーションを行うことができる能力を目標とする。						
ルーブリック						
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
技術者のための英語（技術的分野の英語、数学とプレゼンテーション）を実践することができる。		習った単語、表現を利用して作文を書く、技術論文を読む、英語で話することができる。		習った単語、表現を利用して文章を書く、技術論文を読むことができる。		習った単語、表現を利用して文章を書く、技術論文を読むことができない。
学科の到達目標項目との関係						
専門 A1 専門 A2 教養 C1 教養 C2						
教育方法等						
概要		関連科目：専門科目および英語				
授業の進め方・方法						
注意点						
実務経験のある教員による授業科目						
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	Guide trainees to the factory		大きな数字の表現、思ったより〜であるという表現などを利用して文章を作る、話することができる。	
		2週	Study the drawing 1		二つの単語をハイフンでつなぎ、一つの単語とする表現を利用して文章を作る、話することができる。	
		3週	Study the drawing 2		工場に設置しているさまざまな工作機械や装置について復習し、発音できるようになる。	
		4週	Operating the machines		命令形の表現、「ひっくり返っている」という表現を利用して文章を作る、話することができる。	
		5週	Engine assembly training 1		測定する、確認、「〜かどうか」の表現を利用して文章を作る、話することができる。	
		6週	Engine assembly training 2		工場でよく使われる表現を学び、自動車の生産工程を英語で表現できる。	
		7週	Welding robot		「ほとんど〜でない」、「〜にとって代わる」表現を利用して文章を作る、話することができる。	
		8週	中間試験			
	2ndQ	9週	Engineering materials		材料・気体・液体など一定の形がないものの表現を利用して文章を作る、話することができる。	
		10週	Safety at work 1		「〜するために」という表現を利用して文章を作る、話することができる。	
		11週	Safety at work 2		「be+to不定詞」を用いた命令・義務・予定・可能などの表現を利用して文章を作る。	
		12週	Numbers 1		期間や時間の表現、割合や比率の表現を利用して文章を作る、話することができる。	
		13週	Numbers 2		数と量の大きさ、数量、比較・差、倍率、比、比例を表す表現を学び、文章を作る。	
		14週	Graphs 1		グラフの名称、グラフに関する用語の表現を利用して文章を作る、話することができる。	
		15週	Graphs 2		数値の増減の表現を利用して文章を作る、話することができる。	
		16週				
後期	3rdQ	1週	Shape and size		形に関する表現、材料・重さ・長さをたずねるなどを利用して文章を作る、話することができる。	
		2週	Numerical expressions 1		形の寸法、線や面の位置関係を表す表現を利用して文章を作る、話することができる。	
		3週	Numerical expressions 2		数式の表現、数式に関する用語を利用して文章を作る、話することができる。	
		4週	Presentation 1		プレゼンテーションの構成（序論・本体・結論）理解し、表現することができる。	
		5週	Presentation 2		プレゼンテーションの資料を作成することができる。	
		6週	Presentation 3		プレゼンテーションの効果を高める視覚情報ができる。	
		7週	Presentation 4		プレゼンテーションできるようになる。	
		8週	中間試験			
	4thQ	9週	An example of a presentation		本論の展開に役立つつなぎ言葉の表現ができるようになる。	

	10週	4-cycle engine 1	「…を～にしておく」の表現を利用して文章を作る、話すことができる。
	11週	4-cycle engine 2	名詞を修飾する表現など利用して文章を作る、話すことができる。
	12週	Hybrid systems	「できるだけ（なるべく）～する」、「AもB～」、「AかB～」の表現を利用して文章を作る。
	13週	Integrated circuit (IC) 1	形式的な主語・目的語のitの表現を利用して文章を作る、話すことができる。
	14週	Integrated circuit (IC) 2	「（結果が）～になる」という表現を利用して文章を作る、話すことができる。
	15週	New energy	比較を使った表現、「～だけれども」という表現を利用して文章を作る、話すことができる。
	16週		

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	レポート	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	0	20	10	100
基礎的能力	70	0	0	0	20	10	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0